



## 卒業式を終えて

校長 代市 利光

3月18日、卒業式を無事挙行し、72名の卒業生が八坂中学校から巣立っていきました。厳粛な雰囲気の中にも温かみ溢れる卒業式でした。卒業生答辞では、8名の生徒が登壇し、中学校での思い出や在校生への期待、保護者への感謝の気持ちなどを堂々と語り、胸を打つものがありました。それらを受け止めた在校生の姿勢も立派で、式を通じてまた一つ成長した八坂中学校の姿が感じられました。最後に生徒、職員全員で式歌「旅立ちの日に」を合唱し、別れを惜しみました。当日は雨天の予報も出ていましたが、予定通り校庭での歓送が実施でき、名残惜しい気持ちを抑えつつ見送ることができました。

当日はご来賓の皆さま、地域の皆さま、多くの保護者の皆さまにご臨席を賜り、あらためて感謝申し上げます。本日卒業しました生徒ならびに八坂中学校へのご支援、ご指導をこれからもよろしくお願いいたします。

### <式辞より 抜粋>

皆さんの学年の学年カラーは「青」でした。この「青」という文字・言葉を使った「青は藍より出でて藍より青し」ということわざがあります。少し短くして「藍より青し」ということもあります。三年前の君たちは、まだ様々な人に教を乞う立場で、本校を卒業していった先輩たちの放つ「青色」には程遠い、中学生としては頼りない薄い「青」色であったことでしょう。色濃い中学校生活を目指して、先輩たちに倣い、様々な経験を重ね、多くのことを学ぼうと、意欲に満ちたスタートを切ったことと思います。以来、知恵や知識を蓄えて、深みのある力強い青色を放つ学年として成長してきました。そして、三年間、仲間とともに、学び合い、高め合い、関わり合い、飛躍を目指し、情熱を燃やし、後輩たちの良き手本となり、教を乞う立場だった皆さんは、まさに「藍より青い」学年として成果を残してきた、と感じています。振り返れば、決して平坦な道ばかりではなく、つまずいたり悩んだりしたこともあったと思いますが、何より、初めての制服で過ごす中学校生活は、先の見えない不安もあったことでしょう。それでも今、最上級生としての部活動の大会やコンクールでは、その努力の成果を見せ、行事では、先頭に立って活躍し、後輩たちを導く立場に成長しました。皆さんは、後輩たちに三年生としての心意気、八坂中生として引き継ぐべき姿を見せてくれました。本日、めでたく卒業の日を迎え、次のステージへと歩みを進めて行きます。教を乞うことが多い生活が再び始まります。迷わず、様々なことに立ち向かってください。そして八坂中学校を作ってきた先輩方と同じように、藍色よりも濃く、輝く青色を放ちながら、それぞれの選んだ場所へ力強く進んでいってください。